

会 員 7 名  
事務局 2 名

委員構成(敬称略) ◎会長 ○副会長

◎教育委員会	林 元春	○女性団体連絡会	宮沢美輪子
行 政	下沢克裕	学 校	下井早苗(北小)
みなみ信州農業協同組合	熊岡正志	松川町商工会	古谷はるみ
学識経験者(区長会長)	伊藤武人		

### 1. 開会

<会長・副会長の互選>

会長には教育委員会 林元春さん、副会長には女団連 宮沢美輪子さんが互選により就任した

### 2. 会長あいさつ

はじめての審議会への参加で、進行を任されたので皆さんに協力をお願いしたい。

チャンネル・ユースは音声告知放送や各行事の放映など町民が大いに期待している。

町民のニーズに沿った放送になるよう、それぞれの立場から意見をいただきたい。

### 3. 協議事項

事務局 : 自主放送番組について(29 年度の報告と 30 年度の取り組み)

役場 : 29 年度には放送に関するクレームはあったか?

事務局 : 29 年度はなかった

役場 : チャンネル・ユースの個人の肖像権の規定は?

事務局 : 一般個人に対して肖像権は適応されないという考え方ではあるが、取材の冒頭でカメラが入ることを伝えている。映って困る人には申し出てもらい撮影しないなどの配慮をしている。

商工会 : 顔が特定できるのが困るとの意見をいただいた時期もあった。チャンネル・ユースは地方の情報番組だから顔がでない番組はさみしい。卒業式にステージからのカメラで授与の様子が見られるのはいい取り組みだと思う。近所の子供が卒業式等で、映っていると子供たちの成長を地域で祝うことができる。地元のケーブルテレビの良い所。卒業式など全員を映す機会が増えるので、配慮、確認が必要。番組内容にバリエーションがあるが、視聴率というか、どのぐらいの人が見ているのか調査をしてみれば、番組編成に役立つのでは。

事務局 : アンケートという方法をとったこともあるが、どなたが記入するかで変わってしまう。以前は企画委員会というものがあつた、廃止後はモニター制度を活用していたが、定着しなかった。今後、外部の方々の意見を取り入れていく体制づくりを検討している。

学校 : 学校では、肖像権に関わるアンケートを保護者に対して取っている。

事務局 :アンケートでチャンネル・ユーの放映に関しては3校とも許可を頂いている。ただしSNSには子供の顔がはっきり映った写真、動画は掲載しないようにしている。

教育委 :運動会などで応援している家族も見てみたい。

事務局 :観客席をとることもありますが、競技中心のため、ほとんど撮影できない。

役場 :全国放送では街頭の人にモザイクが入っているが、チャンネル・ユーではしないのか？

事務局 :そういう流れになっていることは認識している。撮影においては、配慮はしつつチャンネル・ユーではモザイクを入れるということはない。

JA :子供に関わるものには注意が必要だ。

区長 :これだけたくさん番組を放送しているとは知らなかった。告知はどのようにしているのか。

事務局 :1 カ月分の番組表を作成して町内各所に置いている。広報のまつかわら版にニュースと情報番組「まつかわなんでも情報 知っとる？」の内容の掲載は頼んでいる。またツイッターやフェイスブックには、ニュースの内容や放送日を書き込んでいます。音声放送での告知と文字放送なども行っている。

女団連 :広報まつかわと一緒に配ってみてはどうか。

事務局 :検討していきます。

区長 :取材先の情報の集め方は？依頼のみか？

事務局 :依頼がなければ取材しないということはなく、こちらでも情報を集めて取材している。情報を集めきれないこともある。

学校 :学年の行事など年間行事日程に掲載されていないものは、学校側から取材を依頼している。

事務局 :公民館の行事などは一覧でもらっているが、自治会の行事などは情報を集めるのが難しい。

教育委 :文化協会のクラブの紹介、クラブ員募集もしてほしい。

事務局 :「えみりあクラブ」という番組で様々なクラブの紹介しているところだが、文化協会のクラブも随時紹介していく。情報番組「まつかわなんでも情報 知っとる？」という番組内になんでも告知できるコーナーがあり、クラブ員募集もできる。活用してもらえれば。

役場 :見たい人が見たい番組を見ればよいと思うが、特にバラエティー的な番組で、出演者だけが楽しんでいるような番組がある。視聴者の声を気にした方がいいのでは。

事務局 :視聴者のことを考えた番組作りをしていく。

JA :キー局で放送しているようなバラエティー番組と同じようなことはできないし、真似をしてもおもしろくない。「文化財探訪シリーズ 時の旅人」のような番組は勉強になってよい。

区長 :災害時放送のマニュアルはできているのか？

役場 :災害時中継というが、災害対策本部の様子を放送にのせることができるのか？役場との連携はできているか？

事務局 :基本的なマニュアルはできているが、訓練を繰り返し行いながら、誰でも実践できるマニュアルを作っているところ。中継では、災対本部と連携し災害情報を伝えていく。役場と災害時放送の協定を結んでいる。

役場 :ドローンの使い方は？

事務局 :撮影許可の方法、撮影できる場所などをよく確認して、何を撮影するか考えていく。

#### 4. 閉会

以上